

業績書（教育職員免許法施行規則第 22 条の 6 号関係）

氏名	中山 明	学位	博士（学術）
担当授業科目	工科系数学 I 及び演習		

1 経歴，学会及び社会における活動等

経歴

- ・東京理科大学理学部応用数学科入学 昭和 51 年 4 月
- ・東京理科大学理学部応用数学科卒業 昭和 55 年 3 月
- ・東京理科大学理学部数学専攻科入学 昭和 55 年 4 月
- ・東京理科大学理学部数学専攻科修了 昭和 56 年 3 月
- ・電気通信大学大学院電気通信学研究科修士課程入学 昭和 56 年 4 月
- ・電気通信大学大学院電気通信学研究科修士課程修了（工学修士） 昭和 58 年 3 月
- ・筑波大学大学院博士課程社会工学研究科入学 昭和 58 年 4 月
- ・筑波大学大学院博士課程社会工学研究科単位取得後退学 昭和 61 年 3 月
- ・小樽商科大学管理科学科助手 昭和 61 年 4 月～平成 2 年 3 月
- ・文部省情報処理内地研究員（筑波大学社会工学系）平成 1 年 4 月～平成 2 年 3 月
- ・筑波大学博士（学術） 平成 2 年 3 月
- ・福島大学行政社会学部助教授 平成 2 年 4 月～平成 12 年 3 月
- ・福島大学行政社会学部教授 平成 12 年 4 月～平成 16 年 9 月
- ・文部省内地研究員（大阪大学） 平成 12 年 4 月～平成 13 年 3 月
- ・福島大学共生システム理工学類教授 平成 16 年 10 月～現在に至る
- ・日本 OR 学会フェロー（平成 23 年 4 月）

学会活動

- [1] 日本 OR 学会研究普及委員 平成 21 年 4 月～平成 25 年 3 月
- [2] 日本 OR 学会東北支部副支部長 平成 24 年 4 月～平成 26 年 3 月
- [3] 日本 OR 学会代議員 平成 23 年 4 月～現在に至る
- [4] 日本 OR 学会フェロー会議 平成 23 年 4 月～現在に至る
- [5] 日本 OR 学会東北支部長 平成 26 年 4 月～現在に至る
- [6] 日本 OR 学会無任所理事 平成 27 年 4 月～平成 29 年 3 月
- [7] 平成 28 年度日本 OR 学会研究発表会実行委員，シンポジウム委員長
- [8] 日本 OR 学会支部理事 平成 29 年 4 月～平成 31 年 3 月

所属学会：日本オペレーションズ・リサーチ学会，日本応用数理学会，Society for Industrial and Applied Mathematics (SIAM) 所属

社会活動

- ・目黒会（電気通信大同窓会）東北総支部福島県幹事（平成 19 年 6 月～平成 28 年 5 月）
- ・目黒会東北総支部副支部長（平成 28 年 6 月～現在に至る）

2 著 書

著 書 名	単著・共著の別	発 行 所 名	刊行年月日	備 考
ネットワーク理論	共著	アイ・ケイ・コーポレーション	平成 26 年 2 月	

3 学術論文等

学 術 論 文 等 の 名 称	単独・共同の別	発 表 雑 誌 等 名	発行年月日	備 考
[1] Existence conditions for solutions of a quartic approximate equation for TCT Hybla	単独	Discussion paper, Symbiotic Systems Science, Fukushima University (審査なし)	令和 2 年 2 月 18 日	
[2] A strongly polynomial time algorithm for an LP problem with a kind of Leontief coefficient matrix: Refinement of a method of Adler and Cosares	共著	Discussion paper, Symbiotic Systems Science, Fukushima University (審査なし)	平成 31 年 2 月 9 日 (令和 1 年 11 月改訂版)	
[3] A relation between the generalized capacitated minimum cost flow problem and Leontief substitution system	単著	Discussion paper, Symbiotic Systems Science, Fukushima University (審査なし)	平成 29 年 6 月 2 日	
[4] A New Efficient Scaling Algorithm for Finding Shortest Paths in a Network with an Integral Length Function、	共著	<i>Proceedings of 2015 Asian Conference of Management Science & Applications</i> , Paper No. 35、1-1	平成 27 年 9 月 11 日	Best Paper Award を受賞
[5] Improved Algorithm Using Generalized Flows for an Optimization Problem in a Cash Flow Network	共著	<i>Asian J. of Management Science and Applications</i> , Vol. 1、No.1、67-95	平成 25 年	
[6] Dijkstra-based algorithms for the shortest path problem with edges of negative length	共著	<i>Journal of the Operations Research Society of Japan</i> , Vol.56、No.2、137-154	平成 24 年	

[7] New Dijkstra-Based Algorithm for the Single-Source Shortest Path Problem: Successive Applications of Reduced Length Function	共著	<i>Proceedings of 2012 Asian Conference of Management Science & Applications,</i> 319-328	平成 23 年	Best Paper Award 受賞
--	----	--	---------	---------------------

4 学会発表等

発表課題の名称	単独・共同の別	発表学会等の名称	発表年月日	備考
[1] 掃き出し法によるレオンチェフ関連行列の一考察	共同	日本OR学会東北ORセミナー若手研究交流会(郡山市民交流プラザにて)	令和1年11月30日	
[2] 多面体の端点を用いた一般化レオンチェフ行列の特徴づけ	共同	日本OR学会東北ORセミナー若手研究交流会(郡山市民交流プラザにて)	令和1年11月30日	
[3] ある種のプリ・レオンチェフ行列を係数行列にもつ線形計画問題に対する強多項式時間の解法	共同	日本OR学会東北ORセミナー若手研究交流会(飯坂温泉湯野市民センターにて)	平成30年12月1日	
[4] キャッシュフロー・ネットワーク上のある最適化アルゴリズムに対する実装について	共同	日本OR学会東北ORセミナー若手研究交流会(蔵王センタープラザにて)	平成29年11月26日	
[5] ネットワークフロー問題とレオンチェフ行列との関連について	共同	日本OR学会東北ORセミナー若手研究交流会(蔵王センタープラザにて)	平成29年11月26日	
[6] 一般化ネットワーク内の最小コストサーキュレーション問題に関わる Wayne の定理の別証明	共同	日本OR学会東北ORセミナー若手研究交流会(東北大にて)	平成28年11月19日	
[7] ゲインつきフロー問題の最適フローに関する特徴づけについて	共同	日本OR学会東北ORセミナー若手研究交流会(東北大川渡セミナー会場にて)	平成27年11月21日	
[8] ネットワークフロー問題における Scaling 法について	単独	電子情報通信学会東北支部の学術講演会(招待講演), 東北学院大工学部多賀城キャンパス, 1号館3階 第2会議室)	平成26年1月24日	

[9] Negative cycle detection by a Dijkstra-based algorithm	共同	平成24年度日本OR学会秋季研究発表会, 名古屋工大	平成24年9月13日	
[10] Dijkstra-based algorithms for a shortest path problem with edges of negative length (part 1)	共同	平成23年度日本OR学会秋季研究発表会, 甲南大学	平成23年9月16日	
[11] Dijkstra-based algorithms for a shortest path problem with edges of negative length (part 2)	共同	平成23年度日本OR学会秋季研究発表会, 甲南大学	平成23年9月16日	
[12] あるネットワーク上の最適化問題と一般化最大フロー問題との関係	共同	平成22年度日本OR学会秋季研究発表会, こらっせ福島	平成22年9月17日	

以 上